

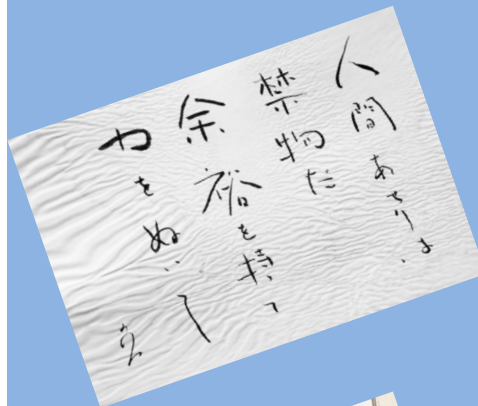
三河商人道

PART
175

(有)モネクラリテ

代表取締役

河合 尚人君



【会社・仕事への思い】

岡崎市出身。大学進学時に名古屋に移り、その間、勉学に勤しむ傍ら、パブル末期の栄でDJとして名を馳せる。そうこうするうち、後に天職となるアパレル界に転身。今を遡る事25年前に岡崎シビコに自身初の服飾店を出店、その後21年前には現在も続く、PAGEBOY(ページボーイ)をオープンする。ほどなくして子供も成長、親孝行をすべく生活の場を岡崎へ戻す。最盛期には8店舗を運営するなど辣腕をふるうが、その原点は、25年前当時の岡崎のファッション界の閉塞感、後進性に疑問を抱き、新風を入れ可能性を示すべきだ、との思いからだ。

【青年部に入会されたきっかけ】

消防団、法人会など、仕事外の活動を通じた知人、また友人などから請われる形で入会に至る。

【思い出に残る青年部活動】

入会2年目には委員会幹事を拝命。岡崎市制100周年の各種事業に尽力する。特に、豊田 YEG との連携に注力し、真冬の豊田市松平の天下祭(裸まつり)では、禪一丁で参加するなど、文字通り一肌脱ぐ交流を行い、同団体との架け橋ともなった。また、岡崎 YEG の誇る「あきんにゃー」に関しては、未知の魅力・価値を見い出すべく、可能性を模索し続けると共に、今後の活躍を想像し、目を細める一面もみせる。

【趣味など】

ズバリ時計。ブランド品など価値の認められた物でなく、ビビッときた物、今後の成長が期待できる時計(?)に目がなく、コレクションは優に100点を超す。以外な所では、メダカ、金魚を育成中。特に金魚に関しては、らんちゅう、四尾の地金など、玄人はだしの育成技術を誇るが、見出す価値はその成長のみで、品評会などに食指を動かす事は無い。

【青年部とは・・・】

仕事外での交流、繋がりができる場所。義務感だけの参加、活動はもったいなく、社業優先は言うまでもないが、社会貢献をできる場として、楽しく、能動的に行動すれば、それが、自身の事業のためになり、同時に地元・地域への恩返しにもなる。

肩の力を抜き、自然体で、求められるままに。



取材担当/総務委員会
鈴木志信、松島努、
鈴木博貴、苅谷大作、
安藤紀朋、柴田法昭
伊藤尚美、永田昌巳、
竹中昌弘